

日産シビリアン(W41型)

ロンドンバス解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産シビリアン(W41型)を種車としたロンドンバスを解体する場合の手順および留意事項を記載したものです。
種車である日産シビリアンの解体要領については、日産自動車にお問い合わせ下さい。

-----目 次-----

1	表紙	----- P 1
2	構造概要	----- P 2.3
3	解体時の留意事項と解体手順	----- P 4
4	解体手順と一般事項	----- P 5

適用車両

(全容・フロント)



(全容・リヤ)



- ・ 本マニュアルは、架装車両の架装部位の解体要領を示しています。
掲載の写真は実物と異なる場合がありますのでご了承願います。
- ・ このマニュアルは解体作業の参考として提供させて頂くものです。
本マニュアル以外の一般的な部位の解体に当たっては、解体業者様にて
ご判断の上、作業して頂きます様お願い致します。

新規発行	10-3-31	N	飯塚	平林	富田
変 更 内 容	発行日	NO	部長	課長	担当

1. 構造概要

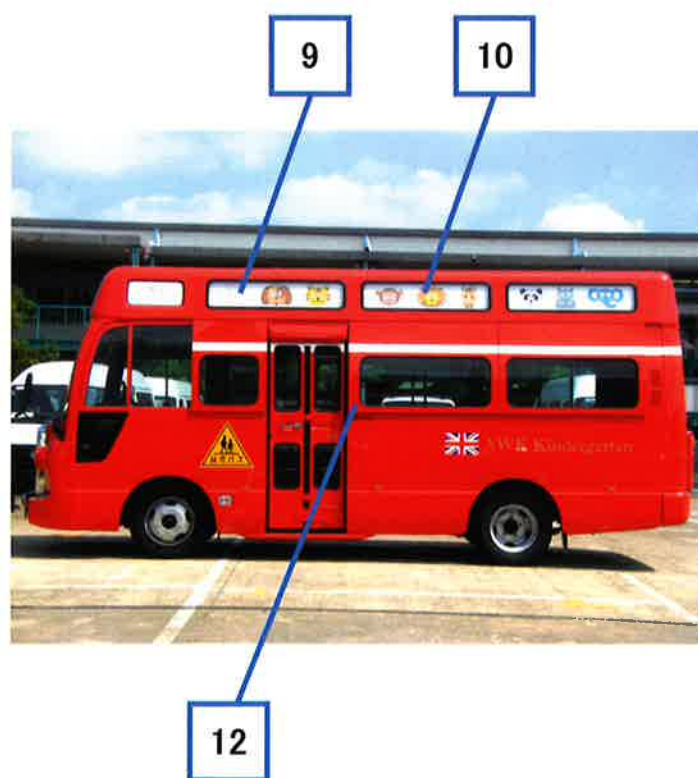
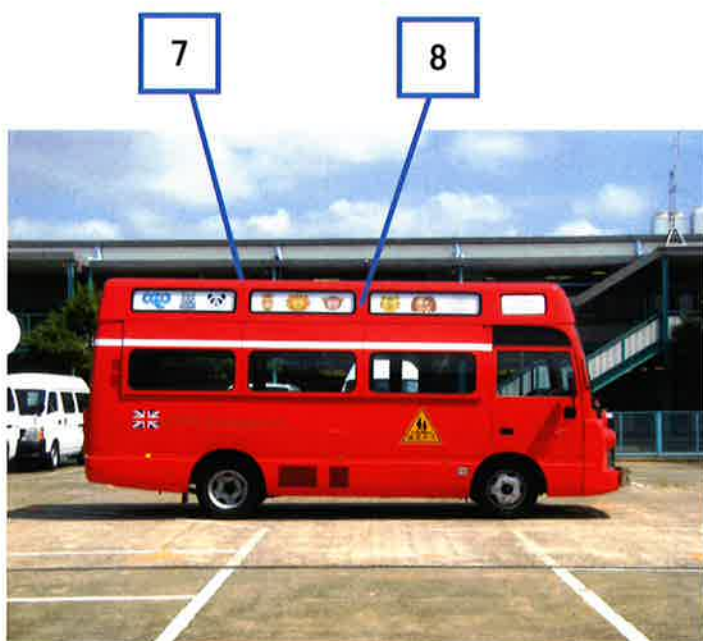
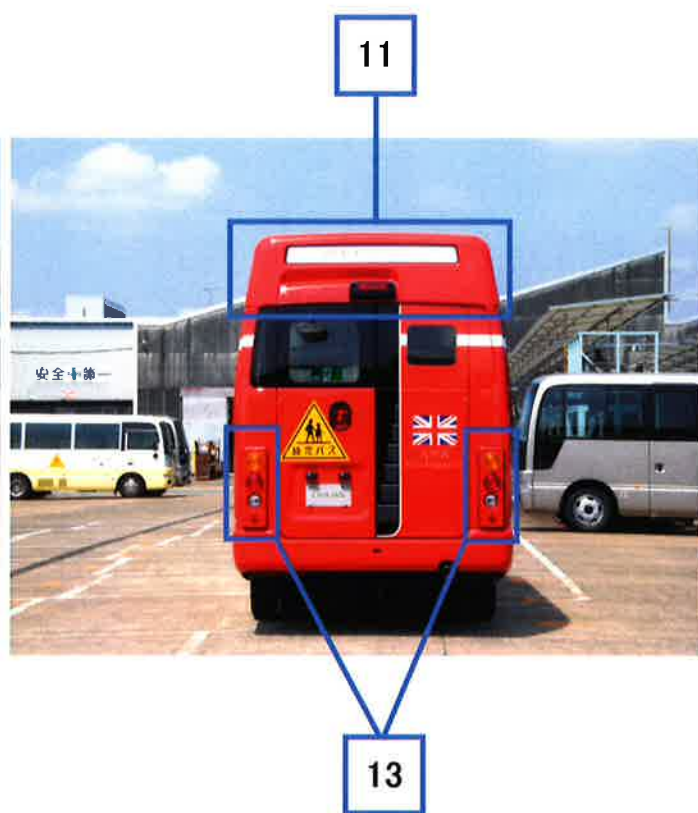
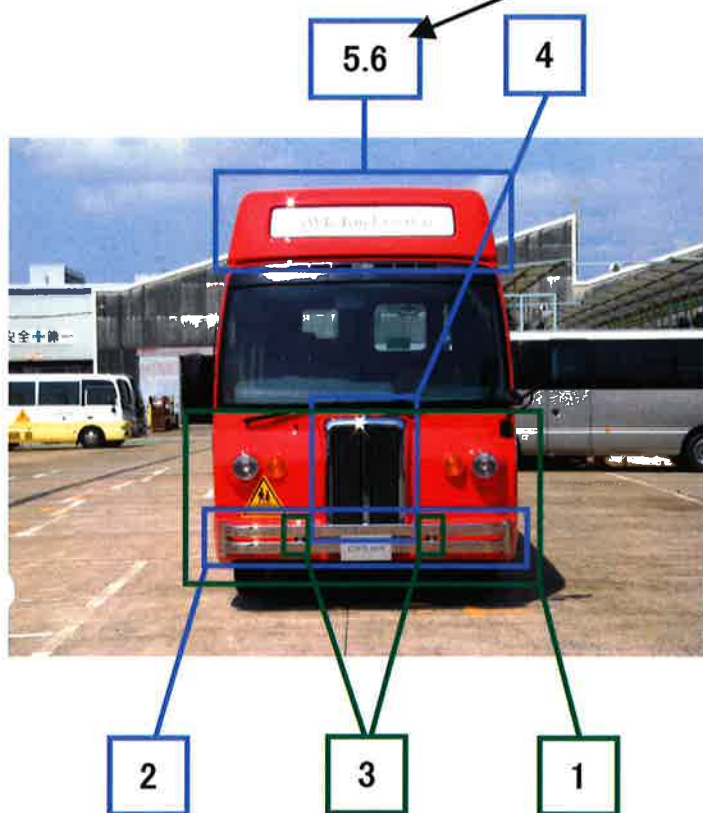
本車両は日産シビリアン(W41型)を種車として、外観をロンドンバスデザインに架装したものです。
各外装部分の装備は、主にアルミ骨格及び鉄板とFRPを組合せて車体外面に取り付けたものです。

▼主要部品の構成と材料

①	フロントマスク FRPハンドレイアップ成形樹脂部品を車体とルーフ骨格にリベットで固定 ヘッドランプ及びターンシグナルランプはフロントマスクにビスで固定
②	フロントバンパー バンパー本体をバンパーステーにボルトで固定
③	フロントバンパーステー 車体前部のフレームにボルトで固定
④	フロントグリル 表面をメッキ処理したABS樹脂製グリルに、ステンレス製のフィンを内側からビスで固定し フロントマスクにビスで固定
⑤	フロントルーフ FRPハンドレイアップ成形樹脂部品をルーフ骨格と車体側にリベットで固定
⑥	ルーフ骨格 アルミ製角材にて車体ルーフ前方より後方にかけてボルトとリベットで固定
⑦	ルーフ上面パネル ルーフ骨格にアルミ製ルーフパネルをリベットで固定
⑧	ルーフサイドパネル 鉄板のルーフサイドパネルをルーフ骨格にリベットで固定
⑨	ルーフサイド窓 ガラス板をルーフサイドパネルにモール(ゴム)で固定
⑩	窓部インナーパネル アルミ製のパネルをルーフサイドパネルにリベットで固定
⑪	リアルーフ FRPハンドレイアップ成形樹脂部品を車体とルーフ骨格にリベットで固定
⑫	窓枠 車体側面の窓サッシュに取り付けたアルミ製L型アングルにアルミ製窓枠をリベットで固定
⑬	リアコンビネーションランプカバー FRPハンドレイアップ成形樹脂部品を車体側にリベットで固定 ターンシグナルランプ及びストップランプとバックランプはカバーにビスで固定 丸型赤色反射板はカバーにビスで固定 端末部全周モール(ゴム)巻き
⑭	車体シールドデザイン 車体全体にカットティングシールにて貼り付け

▼主要部品の番号と写真

ルーフ骨格は各パネルの中に取り付けてあります。



14 キャラクターなどのイラスト部分が
カッティングシールとなります。

2. 解体時の留意事項

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じてください。
- 3) 本車両に架装されている部品は、基本的にはボルト、ビス、リベットによる締結構造となっています。
解体に当たり、リベットの取り外しはドリルで、ボルト・ビスの取り外しは一般工具で作業が可能であり、特に専用工具の使用は必要ありません。
- 4) 架装部品の主な材料は前ページに示した通りです。
各種材料で組み付けられていますので、分別等に際し、適切な処理をして下さい。
FRP等樹脂部品については、専門の処理業者に処理を依頼して下さい。
(樹脂材料については、部品裏面に材料名表示を実施しています。)

3. 解体手順

- 1) 屋根部分の架装部品から解体をして下さい。※安全の為、2人以上で作業して下さい。
 1. ルーフサイドの窓ガラスをモールを抜き取りながら外して下さい。
※1枚が重く割れ物なので、少なくとも2人以上で作業して下さい。
 2. ルーフサイドパネルは車体側にリベットを固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
 3. ルーフ上面パネルは車体側にリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
 4. ルーフ骨格は車体側にボルトとリベットで固定されていますので、各工具で取り外して下さい。
 5. フロント及びリアルーフは車体側にリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
※リベットの頭部はパテ等で隠れていますので、パーツの端末付近にバフ(ヤスリ)をかけるとリベットの頭部が出てきて、打ち込んだ位置が確認できます。
(部品ごとに材料が異なりますので、種別ごとに区分して下さい。)
- 2) フロントバンパーとステーの解体
 1. バンパー本体はステーに直接ボルト(計4箇所)で固定されています。
 2. ステー本体は車体前部のフレームにボルト(計6箇所)で固定されています。
各ボルトの締め付けが硬い場合は、トルクレンチなどで取り外して下さい。
- 3) フロントグリルとフロントマスクの解体
 1. グリル本体はフロントマスク側にビス(12箇所)で固定されていますので、ドライバーで取り外して下さい。
グリル外側は表面をメッキ処理した樹脂部品で、内側にステンレス製のフィンがビスで固定されていますので、ドライバーで取り外して下さい。
 2. フロントマスクは車体側にリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
※リベットの頭部はパテ等で隠れていますので、パーツの端末付近にバフ(ヤスリ)をかけるとリベットの頭部が出てきて、打ち込んだ位置が確認できます。
(部品ごとに材料が異なりますので、種別ごとに区分して下さい。)

4)窓枠の解体

- 1.窓枠本体は、窓サッシに取り付けたL型アングルにリベットで取り付けられています。
- 2.L型アングルは窓サッシに直接リベットで取り付けられています。
各々のリベットをドリルで取り外して下さい。

5)リアコンビネーションランプカバーの解体

- 1.リアコンビネーションランプカバー本体は裏側に台形のブラケットがあり、車体側とリベットで固定されていますので、ドリルで取り外して下さい。
※室内側から電球交換用のパネルを開けると、中にブラケット結合部が見えます。
(部品ごとに材料が異なりますので、種別ごとに区分して下さい。)

6)カッティングシールの剥がし方

- 1.剥がす際は、爪等で十分剥がせますが、極端にボディが冷えていたり剥れ難い場合はドライヤー等で表面を適度に温めて下さい。
温める事で裏面の糊が溶解し、剥がし易くなります。
表面に糊が残った場合は、パーツクリーナー等で拭き取って下さい。

4. 一般事項

- 1) 本車両に含まれている 断熱材、FRPの解体後処理については、
「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」
社団法人 自動車車体工業会ホームページの掲載を参照し、適正に処理して下さい。
- 2) 本車両に含まれる特別架装部分での「使用済み商用車架装物の事前選別対象物」は
樹脂部品 (FRP)、モール (ゴム)、ガラス部品 です。
(基準車部分は除きます。)

▼以下の基準で処理をお願いします。

処理品目	樹脂部品、ガラス部品
危険区分	該当せず
産業廃棄物区分	廃プラスチック類、モール、ガラスくず
代表的な除去方法	車両から取り外す
工場内保管方法	所定パレット内に保管
処分方法	シュレッダー業者又は専門回収会社に処理委託

2) お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関してのお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 オートワークス京都 コンバージョン事業部 京都事業所 技術グループ
TEL : 0774-46-7072